

## 英語 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

### 【授業のねらい】

英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

### 【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1  
第2週 Lesson 2  
第3週 Lesson 3  
第4週 Lesson 4  
第5週 Lesson 5  
第6週 Lesson 6  
第7週 Lesson 7  
第8週 Lesson 8  
第9週 Lesson 9  
第10週 Lesson10  
第11週 Lesson11  
第12週 Lesson12  
第13週 Lesson13  
第14週 Lesson14  
第15週 Lesson15  
第16週 まとめ

### 【履修上の注意事項】

1. 英和辞典を持参すること。 2. 遅刻をしないこと。 3. 無断欠席をしないこと。 4. 携帯電話の電源を切ること。 5. 居眠りをしないこと。 6. 私語をしないこと（私語をすると即退室）。

### 【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

### 【テキスト】

プリント教材などを準備する。

### 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 カレン ルパードス

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（水土2）、企シ（水土1）

## 【授業のねらい】

The basic purpose: to provide students with materials & structured opportunity for learning & using English, thus enabling each student to develop confidence and awareness of improvement through successful achievement of self-determined goals. Students will be subjected to the discipline and requirements of job-performance within a class-room situation. Class is conducted in English.

## 【授業の展開計画】

Provisional schedule, to be adjusted as needed.

- 1-2 Introduction of semester plans and procedures; getting acquainted; “job-contracting” .  
Explanation of students’ rights and responsibilities.
- 3-4 Assessment consultation (by appointment) plus regular class sessions (usually 40 minutes of individual reading/writing; 5-minute break; 40 minutes for team-based activities; 5-min. wrap-up)
- 5-10 Class activities and short lectures, including fundamentals of English (sounds, spelling, handwriting, word-classification, grammar, and style, compared with Japanese).  
Focus on note-taking and quizzes.
- 12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions).
- 15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

## 【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students’ demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

## 【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to “earn” and receive it only if they fulfill their “contract” .

## 【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students’ abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced. In principle, students’ notebooks and folders become their textbooks.

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1) 地環(火金2)

## 【授業のねらい】

大学生として必須の英語力（語彙、文法）を身につけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!San Franciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケーション力を培う。

## 【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週一回はCALL教室での授業となる）英語基礎力とは、授業のねらいに記したところの大学生として必須の英語力である語彙、文法のことである。学習内容の定着を確実にするため、小テストおよび定期的なテストを行う。また、学期末に、本クラスでの学習の集大成としてスピーキングテストを行う。（なお、以下の各回の学習内容は、進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること）

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他
2	英語自己紹介 他	18	英語基礎力養成1-6中間点検
3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他
4	英語のしくみ（概要） 他	20	英語基礎力養成7
5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他
6	英語基礎力養成1	22	英語基礎力養成8
7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他
8	英語基礎力養成2	24	英語基礎力養成9
9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）
10	英語基礎力養成3	26	英語基礎力養成10
11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	27	スピーキングテスト関連1
12	英語基礎力養成4	28	英語基礎力養成11
13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	29	スピーキングテスト関連2
14	英語基礎力養成5	30	英語基礎力養成7-11期末点検 他
15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成
16	英語基礎力養成6		

## 【履修上の注意事項】

○受講に際しては英和と和英辞典（電子辞書）を必携のこと（抜き打ち辞典チェックをします） ○語学は能動的に学習しなければ力はつきませんので、クラスでも能動的および積極的に参加することを必須とします（積極的なボランティア発言などは評価に加算します。またボランティア回数が5回未満は単位無しとします） ○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する ○英語 I では学生は大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録が行えても、実際は登録は認められません。

## 【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

## 【テキスト】

1Viva!San Francisco大八木廣人他マクミランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書(オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

## 【授業のねらい】

本講義は、初日の orientation を除き、dictation と pronunciation practice を主軸に行います。まず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、textbook の例文を用いてpair/group で練習した後、例文の発音チェックに移ります。日本文に対応する英文を出来る限り早く正確に reproduce し、発音チェックに合格することが求められます。時間が許せば、簡易な communicative activity を行います。

## 【授業の展開計画】

## 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

## 【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② dictation/quick response /listening comprehension
- ③ 英語の理解と使用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

## 【テキスト】

講義内で連絡します。

## 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 英語 I

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、経済（火金2）、社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.7他
2	英語の基礎力養成1	18	英語の基礎力養成8
3	Viva! San Francisco Ch.1	19	Viva! San Francisco Ch.8他
4	英語の基礎力養成2	20	英語の基礎力養成9
5	Viva! San Francisco Ch.2他	21	Viva! San Francisco Ch.9他
6	英語の基礎力養成3	22	英語の基礎力養成10
7	Viva! San Francisco Ch.3他	23	Viva! San Francisco Ch.10他
8	英語の基礎力養成4	24	英語の基礎力養成11
9	Viva! San Francisco Ch.4他	25	Viva! Ch.6～10総まとめ（テスト）
10	英語の基礎力養成5	26	英語の基礎力養成12
11	Viva! San Francisco Ch.5他	27	スピーキングテスト準備
12	英語の基礎力養成6	28	英語の基礎力養成13
13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	29	スピーキングテスト（1）
14	英語の基礎力養成7	30	スピーキングテスト（2）
15	Viva! San Francisco Ch.6他	31	英語の基礎力養成8～13（期末点検）
16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）		

## 【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テスト以外に、数回小テスト（英語の基礎力テスト）を実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。(4) 課題（レポート等）が出されるときには、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②発言回数、③小テスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企シ（水土2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」の英語の四技能全てをバランスよく向上させることを目指す。テキストの会話文を音読して、そのテーマについてペアーで作文して口頭発表したり、比較的短い英文をグループで和訳してその内容について英語でディスカッションしてもらう。ラボ教室ではDVDや英語の歌を視聴して語彙を増やし、英米の文化や習慣を理解し、さらに、テキストで学習した内容と比較してどのように反映されているか検証していく。四技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

## 【授業の展開計画】

第1週	: オリエンテーション
第2週 - 第7週	: テキストUnit 1~Unit 2 (+ 1 Extra Unit)
第8週	: 中間試験
第9週 - 第14週	: テキストのUnit 3~Unit 5
第15週	: 英会話テスト
第16週 (31回目)	: 期末試験

## 【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。（電子辞書でもよい）

## 【評価方法】

中間・期末試験	: 70%
英会話テスト	: 20%
授業への参加度	: 10%

\*ただし授業を三分の一以上欠席した学生には単位を与えない。

## 【テキスト】

Synergy2 Student Book Plus (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2006)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語 I

担当教員 糸数 デビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(火金2)、英米(火金1)

## 【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled "Healthy People 2010". And for Japan and Okinawa, "Healthy Japan 2010", and "Healthy Okinawa 2010", respectively. The goals of "Healthy People 2010" is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity(long life).

## 【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, "A Healthy Way of Life" (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: "Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self"

Topics of discussion:

- |                  |                     |                    |
|------------------|---------------------|--------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology          | 3. calorie control |
| 4. balance diet  | 5. exercise         | 6. weight control  |
| 7. smoking       | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc |

## 【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

## 【テキスト】

① "A Healthy Way of Life" Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press  
 ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

## 【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

## 英語 I

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、CALL 教室のコンピュータ教材 Viva! San Francisco の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト California Winds の使用では、リスニングによる教材の内容理解の確認や、単語の並べ替えによる英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として、コンピュータ教材 Viva! San Francisco の会話を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

## 【授業の展開計画】

- |                                  |  |                                   |  |
|----------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 1 クラス概要説明等                       |  | 17 California Winds Chapter 7     |  |
| 2 California Winds Chapter 1     |  | 18 Viva! San Francisco Chapter 7  |  |
| 3 Viva! San Francisco Chapter 1  |  | 19 California Winds Chapter 8     |  |
| 4 California Winds Chapter 2     |  | 20 Viva! San Francisco Chapter 8  |  |
| 5 Viva! San Francisco Chapter 2  |  | 21 Quiz IV                        |  |
| 6 Quiz I                         |  | 22 At the Movies                  |  |
| 7 California Winds Chapter 3     |  | 23 Field of Dreams                |  |
| 8 Viva! San Francisco Chapter 3  |  | 24 California Winds Chapter 9     |  |
| 9 California Winds Chapter 4     |  | 25 Viva! San Francisco Chapter 9  |  |
| 10 Viva! San Francisco Chapter 4 |  | 26 California Winds Chapter 10    |  |
| 11 Quiz II                       |  | 27 Viva! San Francisco Chapter 10 |  |
| 12 California Winds Chapter 5    |  | 28 Quiz V                         |  |
| 13 Viva! San Francisco Chapter 5 |  | 29 会話テスト(クラス1/2)                  |  |
| 14 California Winds Chapter 6    |  | 30 会話テスト(クラス1/2)                  |  |
| 15 Viva! San Francisco Chapter 6 |  | 31 課題提出・追試等                       |  |
| 16 Quiz III                      |  |                                   |  |

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

成績は、小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と、出席状況を基に評価する。

## 【テキスト】

California Winds（成美堂）

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 又吉 斎

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済（火金2） 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

講義は週二回（内1回はCALL教室を利用）、スピーキングの基礎練習（個人・ペア・グループワーク）を中心にを行います。特にCALL教室においては様々な教材（PC・オーディオ・ビデオ機器等）の活用を紹介しながら、各々の自学習サポートを促進します。更に映画や音楽などを通して、様々な文化的トピックスを取り上げながら受講生の異文化に対する理解と関心を深めることを目指します。

## 【授業の展開計画】

普通教室： 講義の概要、及び登録の説明

Discuss: Why English? 国際語としての英語の役割

English Grammar Revised: 英文法の再確認

English Grammar Revised 2: 英文法の再確認 2

How to Choose the 'right' Textbook: テキストの選定

Speaking: Basic Skills - Step 1

Speaking: Basic Skills - Step 2

Speaking: Basic Skills - Step 3

Speaking: Basic Skills - Step 4

Speaking: Practical Skills - Level 1

Speaking: Practical Skills - Level 2

Speaking: Practical Skills - Level 3

Speaking: Practical Skills - Level 4

Speaking: Practical Skills - Level 5

小テスト

LL教室： コンピュータ機器の操作について

Listening: Phonetics 1

Listening: Phonetics 2

Listening: Phonetics 3

Cultural Study 1: 異文化理解 1 (テーマ未定)

Listening: Basic Skills - Step 1

Listening: Basic Skills - Step 2

Cultural Study 2: 異文化理解 2 (テーマ未定)

Listening: Basic Skills - Step 3

Listening: Basic Skills - Step 4

Listening: Basic Skills - Step 5

Cultural Study 3: 異文化理解 3 (テーマ未定)

Listening: Practical Skills - Level 1

Listening: Practical Skills - Level 2

総まとめ

## 【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

評価の対象としては、① 自学習ノート ② 小テスト ③ 課題の提出・受講態度（出席状況、受講マナー、積極的参加など）を総合評価します。尚、評価の割合は次の通りとします。〔① = 50%, ② = 30%, ③ = 20%〕

※ 自学習ノートの評価基準、及び小テストの詳細に関しては別紙に説明します。

※ 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

## 【テキスト】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2~4年次対象 法・地行政（月木5）

## 【授業のねらい】

CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 1~5	17	Viva! San Francisco Chapter 6~10
2	Viva! San Francisco Chapter 1~5	18	Viva! San Francisco Chapter 6~10
3	Viva! San Francisco Chapter 1~5	19	Viva! San Francisco Chapter 6~10
4	Viva! San Francisco Chapter 1~5	20	Viva! San Francisco Chapter 6~10
5	Viva! San Francisco Chapter 1~5	21	Viva! San Francisco Chapter 6~10
6	Viva! San Francisco Chapter 1~5	22	Viva! San Francisco Chapter 6~10
7	Viva! San Francisco Chapter 1~5	23	Viva! San Francisco Chapter 6~10
8	Viva! San Francisco Chapter 1~5	24	Viva! San Francisco Chapter 6~10
9	Viva! San Francisco Chapter 1~5	25	Viva! San Francisco Chapter 6~10
10	Viva! San Francisco Chapter 1~5	26	Viva! San Francisco Chapter 6~10
11	Viva! San Francisco Chapter 1~5	27	Viva! San Francisco Chapter 6~10
12	Viva! San Francisco Chapter 1~5	28	Viva! San Francisco Chapter 6~10
13	Viva! San Francisco Chapter 1~5	29	Viva! San Francisco Chapter 6~10
14	Viva! San Francisco Chapter 1~5	30	Viva! San Francisco Chapter 6~10
15	Viva! San Francisco Chapter 1~5	31	期末テスト
16	中間テスト		

## 【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. Forerunner to Power-Up English (南雲堂) 受講者全員、必ず購入すること。

## 【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

## 英語 I

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語 I

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、簡単な読み物の音読、多様なリスニング教材のシャドーイング練習（リピートイング）を通し聞き取り易い標準的な英語の発音やイントネーションを意識すると共に、異なる英語のアクセントにも慣れる事を目標とします。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.7
2	Viva! San Francisco Ch.1	18	講義8
3	講義1	19	Viva! San Francisco Ch.8
4	Viva! San Francisco Ch.2	20	講義9
5	講義2	21	Viva! San Francisco Ch.9
6	Viva! San Francisco Ch.3	22	講義10
7	講義4	23	Viva! San Francisco Ch.10
8	講義5	24	講義11
9	Viva! San Francisco Ch.4	25	Viva! San Francisco まとめテスト6-10
10	講義6	26	講義12
11	Viva! San Francisco Ch.5	27	Activity 1
12	講義1-6まとめ	28	講義6-12まとめ
13	Viva! San Francisco まとめテスト1-5	29	Activity 2
14	中間チェック（講義1-6）	30	Activity 3
15	Viva! San Francisco Ch.6	31	期末テスト（講義11-15）
16	講義7		

## 【履修上の注意事項】

- \*中間・期末テスト以外に、必要に応じて数回小テストを実施する場合があります。
- \*毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。

## 【評価方法】

中間、期末テスト、課題提出状況、又はミニテストを主として評価。又、クラスのアクティビティー（ペアワーク・グループワーク）の際の貢献度、出席率等も評価の対象となります。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要はありません）
2. ハンドアウト

## 【参考文献】

授業の中で紹介します。

## 英語 I

担当教員 宮城 和文

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

### 【授業のねらい】

英語学習における4技能（読む、書く、聴く、話す）のバランスのとれた向上を最終目標に据えながら、本講座では主に「聴く」「話す」の演習に焦点をあて学習を進めていく。一方で、英語の話されている文化や風物などについて知識を広げ、自文化との相違に関心を高める機会としたい。さらに英語という言語を、多文化共生時代に求められているコミュニケーションのひとつの手段として捉える機会としたい。

### 【授業の展開計画】

CALL(コンピュータ)教室では、本学E-Learningシステムに装備されているViva!San Franciscoのコンテンツに沿った教材を中心に授業を展開する。普通教室では、講師選定のテキストを用い、CALL教室で学んだ内容との関連性を図り、目標表現習得のための補完・深化に充てる。講義進度は、両教室とも毎回1章をこなすこととし学習事項の定着をみるために毎週クイズを実施する。

第1週 オリエンテーション

第2週～第15週 以降各教室で使用する教材を、毎回1章（1レッスン）学習する。

最終週 期末試験

### 【履修上の注意事項】

- ・ 毎回発表の機会を与えます。積極的な授業参加を望みます。
- ・ 申告したスキット発表の日に、実施できるように準備をしっかりと行うこと。
- ・ 遅刻、私語、居眠り、携帯電話使用、理由不明の離席は、授業進行の妨げとなるので厳に慎むこと。
- ・ 3分の1を超える欠席は、学則により「不可」となる。

### 【評価方法】

- ・ 週末クイズ 40%
  - ・ 期末試験 30%
  - ・ スキット発表 20%
  - ・ 授業貢献 10%
- 詳細については、開講初日のオリエンテーションで告知します。

### 【テキスト】

開講日のオリエンテーションで使用テキストを紹介します。（販売は本学朝野書房にて行います）

### 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 一森 庸夫

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 経・環・企・情（月木5）

## 【授業のねらい】

リスニング・スピーキング力の養成が中心であるが、発音、文法の基本事項を再確認し、総合的に英語の基礎力を養成する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	C A L L
2	テキスト、ハンドアウトの紹介、配布	18	通常の授業
3	通常の授業	19	C A L L
4	C A L L	20	通常の授業
5	通常の授業	21	C A L L
6	C A L L	22	通常の授業
7	通常の授業	23	C A L L
8	C A L L	24	通常の授業
9	通常の授業	25	C A L L
10	C A L L	26	通常の授業
11	通常の授業	27	C A L L
12	C A L L	28	通常の授業
13	通常の授業	29	C A L L
14	C A L L	30	復習
15	通常の授業	31	期末試験
16	中間試験		

## 【履修上の注意事項】

週 1 回は C A L L 教室で指定テキストを使用しての授業をおこなう。積極的な授業参加が要求される。

## 【評価方法】

中間および期末試験の成績と授業への積極的参加

## 【テキスト】

開講時に紹介する。

## 【参考文献】

ハンドアウトの形で配布する。

**英語 I**

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、企シ（水土2）

**【授業のねらい】**

ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

**【授業の展開計画】**

第1週： Introduction to the class  
第2～7週： Viva! San Francisco Chap 1～5  
第8週： 中間テスト  
第9～14週： Viva! San Francisco Chap 6～10  
第15週： 期末テスト

**【履修上の注意事項】**

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を利用し、1回を普通教室で指定テキストを使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。また、基本的な英文法も学ぶ。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

**【評価方法】**

授業貢献度 10% クイズ 20%  
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 50%

**【テキスト】**

Viva! San Francisco (購入の必要はありません)  
Take It Easy! センゲージラーニング社(必ず購入して下さい)

**【参考文献】**

辞書は必ず持参すること

## 英語 I

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情(水土2)、日文(水4土3)

## 【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、主に「聴く」「話す」の技能を養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用して講義を行う予定である。

語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

## 【授業の展開計画】

- 1週目:オリエンテーション
- 2週目:Viva San Francisco: Lesson 1 (Quiz 1)
- 3週目: " " :Lesson 2 (Quiz 2)
- 4週目: " " :Lesson 3 (Quiz 3)
- 5週目: " " :Lesson 4 (Quiz 4)
- 6週目: " " :Lesson 5 (Quiz 5)
- 7週目: " " :Lesson 1-5 まとめ
- 8週目: 中間テスト
- 9週目: " " :Lesson 6 (Quiz 6)
- 10週目: " " :Lesson 7 (Quiz 7)
- 11週目: " " :Lesson 8 (Quiz 8)
- 12週目: " " :Lesson 9 (Quiz 9)
- 13週目: " " :Lesson 10 (Quiz 10)
- 14週目: " " :Lesson 6-10 まとめ
- 15週目:期末テスト

## 【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。  
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

中間テスト(テキスト):20% 期末テスト(テキスト):20%  
クイズ(Viva! San Francisco):20%  
課題・提出物:20%  
講義への貢献度:10%  
出席:10%

## 【テキスト】

未定。最初の講義時に通知する。

## 【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用および英作文用等の追加教材は、随時プリントを配布する。

**英語 I**

担当教員 ジョウン・ターバート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

**【授業のねらい】**

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

**【授業の展開計画】**

English I will cover the first half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

**【履修上の注意事項】****【評価方法】**

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation, interviews and presentations to be made in class.

**【テキスト】**

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

**【参考文献】**

## 英語 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

## 【授業のねらい】

普通教室での授業の日は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室での授業の日は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、言語障害をも克服できると言われる「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがこのコースの狙いである。

## 【授業の展開計画】

週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。前期は、Scene4, 6, 7, 10, 13, 14, 17, 18, 20, 22, 27, 30, 35, 36を順に学習していく。

また、別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter1から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。さらに時々、歌い易い洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

## 【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

## 【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

## 【テキスト】

「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著(総合法令出版株式会社)

## 【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

## 英語 I

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

### 【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、別の教科書やプリントを使って基礎的なリスニングやスピーキング力の向上を目指し、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

### 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること

### 【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

### 【テキスト】

1. Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (Macmillan) 2000円(税別)
2. On Air Listen and Communicate, Graeme Todd, Rogger Palmer, 加野まきみ 金星堂 2100円(税別)  
を使用予定

### 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語 I

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1） 産情（水土2）

### 【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）のなかでも、特に聴く・話す学習に重点を置き、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

### 【授業の展開計画】

第1週 : クラス・オリエンテーション  
第2～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 1～5  
第8週 : 中間テスト  
第9～14週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 6～10  
第15週 : 期末テスト

### 【履修上の注意事項】

週1回のラボ室使用の日には、VIVA! SAN FRANCISCO とインターネットリサーチなどのグループプレゼンテーションを行う。普通教室においては、TOEIC対策のListening Practiceを行う。「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

### 【評価方法】

中間、期末試験とグループプレゼンテーション、及び宿題を総合的に評価する。

### 【テキスト】

VIVA! SAN FRANCISCO サブテキスト : 5-Minute Quizzes for the TOEIC Test

### 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

教科書は「Homestay Adventures」、listening, speakingを中心に学びます。日常生活レベルの英語を聞いて理解し、自分の言いたいことを英語で的確に表現できるようにする。英語母語話者の会話やインタビューの映像を見ながら、英語スクリプトに日本語字幕を入れる作業を通して、より自然な英語表現に触れ学んでほしい。中間・期末試験、会話の暗唱テスト、Listening Quiz, そしてペアを組んで自分達で英語のスキット（5分間）を作成し、台本を英語で書き、演じてもらう。

### 【授業の展開計画】

週 2 回の授業のうち、1回はラボ教室です。  
 ユニット毎に、暗唱テスト、Listening Quiz、日本語字幕入れがあります。  
 以下のスケジュールは変更する場合があります。  
 詳細は最初の授業のときに説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, PC操作方法の説明等、 Unit 1
2	Unit 1
3	Unit 2
4	Unit 2
5	Unit 3
6	Unit 3
7	Midterm Examination (Units 1-3)
8	Unit 4
9	Unit 4
10	Unit 5
11	Unit 5
12	Unit 6
13	Unit 6、 Skitの準備
14	Skitの準備
15	Skit発表 (1)、 Skit発表 (2)
16	Final Examination (Units 4-6)

### 【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻 3 回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。

### 【評価方法】

出席状況＋授業への参加姿勢・・・・・・・・・・ 10%  
 暗唱テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10%  
 Listening Quiz・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10%  
 英語のskit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20%  
 中間試験・期末試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50%

### 【テキスト】

・Homestay Adventures (Macmillan Languagehouse)

### 【参考文献】

特になし

## 英語 I

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）

### 【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）に於ける総合的な学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

### 【授業の展開計画】

- 第1～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 1～5、ハンドアウト1～5
- 第8週 : 中間テスト
- 第9～12週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 6～10、ハンドアウト6～10
- 第13～14週 : Performance (Group presentation)
- 第15週 : 期末テスト

### 【履修上の注意事項】

ラボ室では、VIVA! SAN FRANCISCO と映画の短いシーンを活用しての聴く学習を中心に進め、教室では、配布されるハンドアウトをもとに、英語圏の文化についての理解を深めたり、会話に必要な表現を学ぶことができるよう、共に工夫する。受講生はペアを組んで練習をすることを拒まず、意欲的に参加することが求められる。毎週作文を書くことで、文法事項を確認する。私語などによって他の受講生の学習の妨げをすることを慎むこと。  
\*週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

### 【評価方法】

授業への参加姿勢・貢献度（質問など）、ペアを組んでのパフォーマンス、及びテストを総合的に評価する。

### 【テキスト】

- \*毎回ハンドアウトを配布する。
- \*Viva! San Franciscoを購入する必要はない。

### 【参考文献】

適宜紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

## 【授業のねらい】

英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。前期同様、普通教室での授業は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで確認を行う。CALL教室での授業は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがコースの狙いである。

## 【授業の展開計画】

前期同様週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。Scene1, 9, 16, , 23, 24, 26, 29, 32, 37, 43, 44, 47を順に学習していく。

別の日の週1回は、” VIVA SANFRANCISCO”をChapter11から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。さらに時々、歌い易い洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

## 【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

## 【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

## 【テキスト】

「超右脳つぶやき英語トレーニング」七田真監修、登内和夫・Elizabeth Townsend・Terri-anne Sole著(総合法令出版株式会社)

## 【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

## 英語Ⅱ

担当教員 ジョウン・ターバート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米（火金1）

### 【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

### 【授業の展開計画】

English II will cover the second half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

The final grade will be based on homework, tests, quizzes, attendance, participation, interviews and presentations to be made in class.

### 【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

### 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情(水土2)、日文(水4土3)

## 【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、「聴く」「話す」の技能を重点的に養成する。週2回のクラスのうち1回はCALL教室を使用する。教室での講義は、下記テキストを使用する予定である。語学の学習においては、学生が積極的に参加し、発言することが重要だと考えるため、下記「評価方法」の中に「講義への貢献度」の項目を設けた。講義に出席し、Volunteer point の取得を頑張ってください。

## 【授業の展開計画】

1週目:オリエンテーション  
 2週目:Viva! San Francisco: Lesson 11 (Quiz 1)  
 3週目: " " : Lesson 12 (Quiz 2)  
 4週目: " " : Lesson 13 (Quiz 3)  
 5週目: " " : Lesson 14 (Quiz 4)  
 6週目: " " : Lesson 15 (Quiz 5)  
 7週目: " " : Lesson 11-15まとめ  
 8週目:中間テスト  
 9週目: Viva! San Francisco: Lesson 16 (Quiz 6)  
 10週目: " " : Lesson 17 (Quiz 7)  
 11週目: " " : Lesson 18 (Quiz 8)  
 12週目: " " : Lesson 19 (Quiz 9)  
 13週目: " " : Lesson 20 (Quiz 10)  
 14週目: " " : Lesson 16-20まとめ  
 15週目:期末テスト

## 【履修上の注意事項】

1. 出席は毎回確認し、出席時数が2/3に満たない学生は単位取得対象にならないので注意すること。
2. 毎回講義には英語辞典(少なくとも英和辞典)を持参すること。電子辞書も可。
3. 欠席届は必ず提出すること。  
「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

中間テスト(テキスト等より出題):20% 期末テスト(テキスト等より出題):20%  
 クイズ(Viva より出題):20%  
 課題・提出物:20%  
 講義への貢献度:10%  
 出席:10%

## 【テキスト】

未定。最初の講義時に通知する。

## 【参考文献】

特になし。オーラルレッスン用および英作文用等の追加教材は、随時プリントを配布する。

**英語Ⅱ**

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、企シ（水土2）

**【授業のねらい】**

英語Ⅰに引き続き、ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

**【授業の展開計画】**

第1週 : Introduction to the class

第2～7週 : Viva! San Francisco Chap 11～15

第8週 : 中間テスト

第9～14週 : Viva! San Francisco Chap 16～20

第15週 : 期末テスト

**【履修上の注意事項】**

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を使用し、もう1回は普通教室でサブ・テキスト（未定）を使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

**【評価方法】**

授業貢献度	10%	クイズ	30%
プレゼンテーション	20%	中間・期末試験	40%

**【テキスト】**

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）サブ・テキスト（未定・教室にて指定します）  
辞書は必ず携帯すること。

**【参考文献】**

## 英語Ⅱ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（月木5）

## 【授業のねらい】

英語Ⅰ同様、CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 11～15	17	Viva! San Francisco Chapter 16～20
2	Viva! San Francisco Chapter 11～15	18	Viva! San Francisco Chapter 16～20
3	Viva! San Francisco Chapter 11～15	19	Viva! San Francisco Chapter 16～20
4	Viva! San Francisco Chapter 11～15	20	Viva! San Francisco Chapter 16～20
5	Viva! San Francisco Chapter 11～15	21	Viva! San Francisco Chapter 16～20
6	Viva! San Francisco Chapter 11～15	22	Viva! San Francisco Chapter 16～20
7	Viva! San Francisco Chapter 11～15	23	Viva! San Francisco Chapter 16～20
8	Viva! San Francisco Chapter 11～15	24	Viva! San Francisco Chapter 16～20
9	Viva! San Francisco Chapter 11～15	25	Viva! San Francisco Chapter 16～20
10	Viva! San Francisco Chapter 11～15	26	Viva! San Francisco Chapter 16～20
11	Viva! San Francisco Chapter 11～15	27	Viva! San Francisco Chapter 16～20
12	Viva! San Francisco Chapter 11～15	28	Viva! San Francisco Chapter 16～20
13	Viva! San Francisco Chapter 11～15	29	Viva! San Francisco Chapter 16～20
14	Viva! San Francisco Chapter 11～15	30	Viva! San Francisco Chapter 16～20
15	Viva! San Francisco Chapter 11～15	31	期末テスト
16	中間テスト		

## 【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. 現時点では未定 未定なため、講義初回にて連絡する。

## 【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 糸数 デビッド

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済（火金2）、英米（火金1）

## 【授業のねらい】

The first decade of the 21st century (2001-2010) has been dedicated to health promotion and disease prevention. The entire members of the human race are now working hand-in-hand to promote this massive project entitled “Healthy People 2010”. And for Japan and Okinawa, “Healthy Japan 2010”, and “Healthy Okinawa 2010”, respectively. The goals of “Healthy People 2010” is to increase the quality of healthy life expectancy, longevity (long life).

## 【授業の展開計画】

【授業のねらい】の続き～

Okinawa Prefecture being the leader of longevity in the world, should improve their health status, and serve as an inspiration to the world.

With this background, I would like to teach basic English content, using basic English textbook entitled, “A Healthy Way of Life” (120 pages). Aside from the topics in the textbook, I will provide a supplementary lecture of my own published research paper (1990) on prevention of disease and promotion of health, entitled: “Man, Healthy Self and You Will Have a Healthy Self”

Topics of discussion:

- |                  |                     |                     |
|------------------|---------------------|---------------------|
| 1. biotechnology | 2. ecology          | 3. calorie control  |
| 4. balance diet  | 5. exercise         | 6. weight control   |
| 7. smoking       | 8. drinking/alcohol | 9. stress, 10. etc. |

## 【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

- ① Attendance : 33.4% ② Test : 33.3% ③. Class Participation : 33.3%

## 【テキスト】

- ① “A Healthy Way of Life” Authors: Gerald Dampier / William Scougall, 120 pages Publisher: Asahi Press ② Smart Choice 1A Author: Ken Wilson Publisher: Oxford University Press

## 【参考文献】

- Inspirational Video
- News that you can use (important current events- local and global on health)

## 英語Ⅱ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律(水土1)

## 【授業のねらい】

教科書は「Homestay Adventures」、Listeningとspeakingを中心に学びます。教科書は前期からの継続で、後半部分のUnits7-12をカバーする。日常生活レベルの英語を聞いて理解し、自分の言いたいことを英語で的確に表現できるようにする。英語母語話者の会話やインタビューの映像を見ながら、英語スクリプトに日本語字幕を入れる作業を通して、より自然な英語表現に触れ学んでほしい。中間・期末試験、会話の暗唱テスト、Listening Quiz, そして1年の集大成として、自分の興味あるものを調べて英語でプレゼンテーションしてもらおう(一人3分程度)。

## 【授業の展開計画】

教科書は前期と同じものを使用し、後半部分を学びます。  
週2回の授業のうち、1回はラボ教室です。  
ユニット毎に、暗唱テスト、Listening Quiz, 日本語字幕入れがあります。  
以下のスケジュールは変更する場合があります。  
詳細は最初の授業のときに説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, Unit 7
2	Unit 7
3	Unit 8
4	Unit 8
5	Unit 9
6	Unit 9, Unit 10
7	Midterm Examination (Units 7-9)
8	Unit 10
9	Unit 11
10	Unit 11, Unit 12
11	Unit 12
12	Presentation準備
13	Presentation準備
14	Presentation準備, Presentation (1)
15	Presentation (2), Presentation (3)
16	Final Examination (Units 10-12)

## 【履修上の注意事項】

辞書を持参。出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課(欠席扱い)とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。

## 【評価方法】

出席状況+授業への参加姿勢・・・・・・・・・・10%  
暗唱テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・10%  
Listening Quiz・・・・・・・・・・・・・・・・10%  
英語presentation・・・・・・・・・・・・・25%  
中間試験・期末試験・・・・・・・・・・・・・45%

## 【テキスト】

・Homestay Adventures (Macmillan Languagehouse)

## 【参考文献】

特になし

## 英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企シ（水土2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」の4技能全てをバランスよく向上させることを目指す。テキストの会話文を音読して、そのテーマについてペアーで作文して口頭発表したり、比較的短い英文をグループで和訳してその内容について英語でディスカッションしてもらおう。ラボ教室ではDVDや英語の歌を視聴して語彙を増やし英米の文化や習慣を理解し、さらに、テキストで学習した内容と比較してどのように反映されているか検証していく。4技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

## 【授業の展開計画】

第1週 : オリエンテーション  
 第2週－第7週 : Unit 6 － Unit 8  
 第8週 : 中間試験  
 第9週－第14週 : Unit 9 － Unit 10 (+1 Extra Unit)  
 第15週 : 英会話テスト  
 第16週 (31回目) : 期末試験

## 【履修上の注意事項】

英語中辞典は毎回必要なので忘れずに持参すること。（電子辞書でもよい）

## 【評価方法】

中間・期末試験 : 70%  
 英会話テスト : 20%  
 授業への参加度 : 10%

## 【テキスト】

Synergy 2 Student Book Plus (MCMILLAN LANGUAGEHOUSE、2006)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）

### 【授業のねらい】

英語の4領域（聴く、話す、読む、書く）に於ける総合的な学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

### 【授業の展開計画】

第1～7週 : VIVA! SAN FRANCISCO Chapter 11～16 テキスト Unit 7～10  
第8週 : 中間テスト  
第9～12週 : VIVA! SAN FRANCISCO chapter 17～20 テキスト Unit 11～12  
第13～14週 : Performance (Group presentation)  
第15週 : 期末テスト

### 【履修上の注意事項】

ラボ室では、VIVA! SAN FRANCISCO と映画の短いシーンを活用しての聴く学習を中心に進め、教室では、配布されるハンドアウトをもとに、英語圏の文化についての理解を深めたり、会話に必要な表現を学ぶことができるよう、共に工夫する。受講生はペアを組んで練習をすることを拒まず、意欲的に参加することが求められる。毎週作文を書くことで、文法事項を確認する。私語などによって他の受講生の学習の妨げをすることを慎むこと。  
\*週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

### 【評価方法】

授業への参加姿勢・貢献度（質問など）、ペアを組んでのパフォーマンス、及びテストを総合的に評価する。

### 【テキスト】

\*毎回ハンドアウトを配布する。  
\*Viva! San Franciscoを購入する必要はない。

### 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、経済（火金2）、社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh. 11～20を学習し、英会話力アップを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.17他
2	英語Ⅰの総復習	18	英語の基礎力養成20
3	Viva! San Francisco Ch. 11	19	Viva! San Francisco Ch. 18他
4	英語の基礎力養成14	20	英語の基礎力養成21
5	Viva! San Francisco Ch. 12他	21	Viva! San Francisco Ch. 19他
6	英語の基礎力養成15	22	英語の基礎力養成22
7	Viva! San Francisco Ch. 13他	23	Viva! San Francisco Ch. 20他
8	英語の基礎力養成16	24	英語の基礎力養成23
9	Viva! San Francisco Ch. 14他	25	Viva! Ch. 16～20総まとめ
10	英語の基礎力養成17	26	英語の基礎力養成24
11	Viva! San Francisco Ch. 15他	27	インタビューテスト準備
12	英語の基礎力養成18	28	英語の基礎力養成25
13	Viva! Ch. 11～15総まとめ	29	インタビューテスト（1）
14	英語の基礎力養成19	30	インタビューテスト（2）
15	Viva! San Francisco Ch. 16他	31	英語の基礎力養成20～25（期末点検）
16	英語の基礎力養成14～19（中間点検）		

## 【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テスト以外に、数回小テスト（英語の基礎力テスト）を実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。(4) 課題（レポート等）が出されるときには、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②発言回数、③小テスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)、地環(火金2)

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva! San FranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて意思疎通の図れる力をみにつける。

## 【授業の展開計画】

(以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週1回はCALL教室での授業となる) 英語基礎力とは、英語Ⅰと同様の大学レベルの英語力(語彙、文法面)の習得とともに、その周辺の能力を学習することである。16週目には、スピーキングテストがあることに注意すること。学習内容の定着を目的とした定期的なテストを実施する。(なお、以下の各回の学習内容は進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること)

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	ラボ室学習Viva!7回目 他
2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	18	英語基礎力養成18 他
3	ラボ室学習Viva!1回目 他	19	ラボ室学習Viva!8回目 他
4	英語基礎力養成12 他	20	英語基礎力養成19 他
5	ラボ室学習Viva!2回目 他	21	ラボ室学習Viva!9回目 他
6	英語基礎力養成13 他	22	英語基礎力養成20 他
7	ラボ室学習Viva!3回目 他	23	ラボ室学習Viva!10回目 他
8	英語基礎力養成14 他	24	英語基礎力養成21 他
9	ラボ室学習Viva!4回目 他	25	Viva!期末点検(テストを含む)
10	英語基礎力養成15 他	26	英語基礎力養成22 他
11	ラボ室学習Viva!5回目 他	27	スピーキングテスト準備
12	英語基礎力養成16 他	28	英語基礎力養成18-22点検(テストを含む)
13	Viva! 中間点検 他	29	スピーキングテスト関連
14	英語基礎力養成17 他	30	スピーキングテスト関連
15	ラボ室学習Viva!6回目 他	31	スピーキングテスト関連
16	英語基礎力養成12-17点検(テストを含む)		

## 【履修上の注意事項】

○英語Ⅱは原則として英語Ⅰと同じクラスに登録することに注意。英語Ⅰ(担当大城)の同曜日同時限に登録していなかった学生が英語ⅡでWeb登録を行っても本英語Ⅱクラスでの登録認めません。○受講に際しては、高校レベル以上の英和と和英辞典は必携です(電子辞書は可)○語学は能動的に学習してこそ力がつくものです。よってクラスでも能動的および積極的に参加することを必須とします(積極的なボランティア発言等などは評価に換算します。またボランティア10回未満の場合は単位無し)○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する

## 【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco大八木廣人他マクランゲンゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語Ⅰで用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米（火金1）

### 【授業のねらい】

本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の practice を pairで行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、group に分かれ、暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題 skit は、講義日前日の 9:00 PM までに mail で提出します。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

### 【評価方法】

- ① 授業出席度（原則皆勤）
- ② quick response / debate
- ③ 英語の理解と運用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題
- ⑥ 受講姿勢

### 【テキスト】

講義内で連絡します。

### 【参考文献】

講義内で別途配布または連絡します。

## 英語Ⅱ

担当教員 カレン ルパードス

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（水土2）、企シ（水土1）

## 【授業のねらい】

Similar to English I, the basic purpose is to provide students with materials & structured opportunity for learning & using English. The goal is to increase each student's self-confidence in achievement by developing skills of analysis & prediction, and mutually supportive attitudes and expectations. Students will be subjected to the discipline and requirements of job-performance within a class-room situation.

## 【授業の展開計画】

1-2 Introduction of semester plans and procedures; "job-contracting" and establishment of goals and expectations. Assessment consultation (by appointment) if needed.

3-11 As planned, Wednesday classess will focus on individual work/study, usually based on reading/writing and listening/speaking. Students will form working-teams of 4-6 members to be self-administrative. Team-duration is expected to be 2-3 weeks before reformation of teams.

Saturday classes will focus on team-based activities, with teams giving presentations or controlling class activities, often with teams in friendly competition with each other.

Teacher-initiated class activities and lectures will tend to focus on correspondence and telephone communication, and making presentations.

12-14 Assessment consultation (by appointment or during regular class sessions). Some students (primarily those withtop ranking excellent attendance) have the liberty of being "on-leave" during this period.

15 Class- and self-evaluation; submission of evidence of accomplishments.

## 【履修上の注意事項】

Students are expected to be self-reliant, responsible, and mutually supportive. Grades reflect students' demonstrated effort to achieve their own goals & to help others achieve theirs.

## 【評価方法】

Self- and peer-assessment are fundamental to this course. Students choose the grade they wish to "earn" and receive it only if they fulfill their "contract".

## 【テキスト】

To be announced & explained during registration period. (Variable according to students' abilities and self-determined goals.) Most in-class materials are teacher-produced.

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

### 【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking、listeningに関する基礎的な運用能力を養成しその向上を図るとともに、英米の言語習慣や文化などについて学びます。さらに、日本語、英語、沖縄の諺や格言などについて比較し、その文化の類似点・相違点などについて勉強する。

### 【授業の展開計画】

第1週 Lesson 1  
第2週 Lesson 2  
第3週 Lesson 3  
第4週 Lesson 4  
第5週 Lesson 5  
第6週 Lesson 6  
第7週 Lesson 7  
第8週 Lesson 8  
第9週 Lesson 9  
第10週 Lesson10  
第11週 Lesson11  
第12週 Lesson12  
第13週 Lesson13  
第14週 Lesson14  
第15週 Lesson15  
第16週 まとめ

### 【履修上の注意事項】

1. 英語辞典を必ず持参すること。 2. 遅刻をしないこと。 3. 無断欠席をしないこと。 4. 居眠りをしないこと。 5. 携帯電話の電源を切ること。 6. 私語をしないこと（私語をすると即退室）。

### 【評価方法】

毎回ペアで対話発表や個人発表をしてその都度評価するとともに、受講態度、宿題、出欠などを総合的に勘案し評価する。

### 【テキスト】

プリント教材などを準備する。

### 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 又吉 斎

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済（火金2） 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

前期「英語Ⅰ」に引き続き、個々のコミュニケーション能力の指導（実用的な英会話の練習、及び基礎的な英文読解の練習等）を中心に組み立てます。先ず普通教室での講義では ① Speaking（英会話）→ ② Reading（読解）の順に、それぞれの基礎練習を行います。又、CALL教室においては ① Pronunciation（発音）→ ② Listening（聴解）の指導、及び異文化理解や自学習サポートについても前期同様に取り組んでいきます。

## 【授業の展開計画】

〔 普通教室 〕	〔 LL教室 〕
後期オリエンテーション — (英文日記)	
Speaking: Going Abroad — Step 1	Pronunciation (発音) : Step 1
Speaking: Going Abroad — Step 2	Pronunciation (発音) : Step 2
Speaking: Going Abroad — Step 3	Pronunciation (発音) : Step 3
Speaking: Going Abroad — Step 4	Pronunciation (発音) : Step 4
Speaking: Going Abroad — Step 5	Cultural Study 1: 異文化理解 1 (テーマ未定)
Speaking: Going Abroad — Step 6	Pronunciation (発音) : Step 5
Speaking: Going Abroad — Step 7	Pronunciation (発音) : Step 6
Reading: Practical Skills — Step 1	Cultural Study 2: 異文化理解 2 (テーマ未定)
Reading: Practical Skills — Step 2	Listening: Practical Skills — Step 1
Reading: Practical Skills — Step 3	Listening: Practical Skills — Step 2
Writing: Practical Skills — Step 1	Listening: Practical Skills — Step 3
Writing: Practical Skills — Step 2	Cultural Study 3: 異文化理解 3 (テーマ未定)
Writing: Practical Skills — Step 3	Listening: Practical Skills — Step 4
小テスト	Listening: Practical Skills — Step 5
	総まとめ

## 【履修上の注意事項】

「週 2 回の授業のうち 1 回はCALL教室を使用する」

## 【評価方法】

評価の対象としては、① 自学習ノート ② 小テスト ③ 課題の提出・受講態度（出席状況、受講マナー、積極的参加など）を総合評価します。尚、評価の割合は次の通りとします。〔① = 50%, ② = 30%, ③ = 20%〕

※ 自学習ノートの評価基準、及び小テストの詳細に関しては別紙に説明します。

※ 出席数が全講義の三分の二に満たない場合は「不可」となります

## 【テキスト】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

## 【参考文献】

指定のテキストはありません。随時、各テーマに沿った資料や文献を配布・紹介します。

## 英語Ⅱ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語Ⅰ・Ⅱ指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

## 【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。テキストはPart2の部分：Chapter11-20を学習していく。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、教科書（英語Ⅰで使用したもの）のUnit 8-15やプリントを使って基礎的なリスニング・スピーキング力の向上に努める。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

## 【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

- ①Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell MACMILLAN LANGUAGEHOUSE 2000円(税別)
- ②On Air Listen and Communicate, Graeme Todd, Roger Palmer, 加野まきみ 金星堂 2100円(税別)を使用予定

## 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語Ⅱ

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（火金2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、CALL 教室のコンピュータ教材 Viva! San Francisco の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等での発音練習等を行う。テキスト California Winds の使用では、リスニングによる教材の内容理解の確認や、単語の並べ替えによる英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として、コンピュータ教材 Viva! San Francisco の会話を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

## 【授業の展開計画】

1 クラス概要説明等		17 California Winds Chapter 17
2 California Winds Chapter 11		18 Viva! San Francisco Chapter 17
3 Viva! San Francisco Chapter 11	19 California Winds Chapter 18	
4 California Winds Chapter 12	20 Viva! San Francisco Chapter 18	
5 Viva! San Francisco Chapter 12	21 Quiz IV	
6 Quiz I	22 ABCDJ	
7 California Winds Chapter 13	23 Stand by Me	
8 Viva! San Francisco Chapter 13	24 California Winds Chapter 19	
9 California Winds Chapter 14	25 Viva! San Francisco Chapter 19	
10 Viva! San Francisco Chapter 14	26 California Winds Chapter 20	
11 Quiz II	27 Viva! San Francisco Chapter 20	
12 California Winds Chapter 15	28 Quiz V	
13 Viva! San Francisco Chapter 15	29 会話テスト(クラス1/2)	
14 California Winds Chapter 16	30 会話テスト(クラス1/2)	
15 Viva! San Francisco Chapter 16	31 課題提出・追試等	
16 Quiz III		

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

成績は、小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と、出席状況を基に評価する。

## 【テキスト】

California Winds（成美堂）

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、産情（水土2）

### 【授業のねらい】

### 【授業の展開計画】

### 【履修上の注意事項】

「週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する」

### 【評価方法】

### 【テキスト】

### 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 一森 庸夫

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 経・環・企・情（月木5）

## 【授業のねらい】

基本的なねらいは英語Iと同じ。コミュニケーション能力の向上を目指す。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	CALL
2	テキスト、ハンドアウトの紹介、配布	18	通常の授業
3	通常の授業	19	CALL
4	CALL	20	通常の授業
5	通常の授業	21	CALL
6	CALL	22	通常の授業
7	通常の授業	23	CALL
8	CALL	24	通常の授業
9	通常の授業	25	CALL
10	CALL	26	通常の授業
11	通常の授業	27	CALL
12	CALL	28	通常の授業
13	通常の授業	29	CALL
14	CALL	30	復習
15	通常の授業	31	期末試験
16	中間試験		

## 【履修上の注意事項】

週一回はCALL教室で指定のテキストを使用して行う。授業への積極的参加が要求される。

## 【評価方法】

中間および期末試験の成績と積極的な授業参加

## 【テキスト】

開講時に紹介する。

## 【参考文献】

ハンドアウトの形で配布する。

## 英語Ⅱ

担当教員 宮城 和文

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

英語学習における4技能（読む、書く、聴く、話す）のバランスのとれた向上を最終目標に据えながら、本講座では主に「聴く」「話す」の演習に焦点をあて学習を進めていく。一方で、英語の話されている文化や風物などについて知識を広げ、自文化との相違に関心を高める機会としたい。さらに英語という言語を、多文化共生時代に求められているコミュニケーションのひとつの手段として捉える機会としたい。

### 【授業の展開計画】

CALL(コンピュータ)教室では、本学E-Learningシステムに装備されているViva!San Franciscoのコンテンツに沿った教材を中心に授業を展開する。普通教室では、講師選定のテキストを用い、CALL教室で学んだ内容との関連性を図り、目標表現習得のための補完・深化に充てる。講義進度は、両教室とも毎回1章をこなすこととし学習事項の定着をみるために毎週クイズを実施する。ペアを組んでのスキット発表は、台本作りからしっかり練り「英語I」より充実したものとなるよう努める。

第1週 オリエンテーション

第2週～第15週 以降各教室で使用する教材を、毎回1章（1レッスン）学習する。

最終週 期末試験

### 【履修上の注意事項】

- ・ 毎回発表の機会を与えます。積極的な授業参加を望みます。
- ・ スキットは、英語Iでの発表よりも完成度を高める努力を示すこと。
- ・ 普通教室では、英語Iで使用したテキストを継続使用する。
- ・ 遅刻、私語、居眠り、携帯電話使用、理由不明の離席は、授業進行の妨げとなるので厳に慎むこと。
- ・ 3分の1を超える欠席は、学則により「不可」となる。

### 【評価方法】

- ・ 週末クイズ 40%
- ・ 期末試験 30%
- ・ スキット発表 20%
- ・ 授業貢献 10% ※一部変更も有り得る

### 【テキスト】

英語Iで使用したテキスト

(※前期末購入者はもちろん紛失した者も再度テキストを買い求めること)

### 【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

アメリカ青少年文学の古典作品を講読し、文法重視の読解ではなく、英語の文章を多く読み、常識と想像力を駆使して、英語の文脈を理解しながら英文の大意をつかむ練習をします。テキスト以外にも英字新聞記事、環境問題関連の書籍の多読を通し、基本的な文法と語彙力の習得を目指します。講義で取り上げるリーディング教材や映画・音楽を通して得た知識を用いて、英語対話の運用能力を鍛える訓練をします。映画や音楽の歌詞に関する英文エッセイを書くことで英語による自己表現の訓練を行います。

## 【授業の展開計画】

\*講義の進度によって、講義予定に変更がある場合もあります。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation Newspaper Articles	17	The Outsiders Chapter 8
2	Newspaper Articles (reading, listening,	18	Film West Side Story (1957)
3	The Outsiders Chapter 1	19	The Outsiders Chapter 9
4	Newspaper Articles (reading, listening,	20	Newspaper Articles (reading, listening,
5	The Outsiders Chapter 2	21	The Outsiders Chapter 10
6	Newspaper Articles (reading, listening,	22	Newspaper Articles (reading, listening,
7	The Outsiders Chapter 3	23	The Outsiders Chapter 11
8	Newspaper Articles (reading, listening,	24	Newspaper Articles (reading, listening,
9	The Outsiders Chapter 4	25	The Outsiders Chapter 12
10	Film Rebel Without a Cause (1955)	26	Newspaper Articles (reading, listening,
11	The Outsiders Chapter 5	27	The Outsiders Review
12	Newspaper Articles (reading, listening,	28	Newspaper Articles (reading, listening,
13	The Outsiders Chapter 6	29	The Outsiders Film Version (1982)
14	Newspaper Articles (reading, listening,	30	Newspaper Articles (reading, listening,
15	The Outsiders Chapter 7	31	Final Exam (The Outsiders Open-book exa
16	Newspaper Articles (reading, listening,		

## 【履修上の注意事項】

(1) 遅刻や私語は厳禁。講義中の居眠りは欠席となる。(2) 講義中、携帯電話は電源を切ること。辞書としての携帯電話使用不可。(3) 講義中、教室を出入りする際は必ず講師に許可を得ること。(4) 講義には毎回辞書、テキスト、筆記用具を持参すること。(5) 毎講義前まで講読予習をすること。毎回予習クイズあり。(6) 期末試験はopen-book examなので、テキストの購入必須。(7) 英文エッセイや課題を書籍、インターネット、その他から剽窃した場合、不可とする。(8) 講義は基本的に英語で行う。

## 【評価方法】

- ・講義での貢献度10%、課題（英文エッセイなど）30%、クイズ（中間試験の代わり）30%、期末テスト(open-book exam) 30%。
- ・80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。
- ・留意点：授業回数の3分の1以上（10回）欠席すると、文部科学省の規則により自動的に不可となります。

## 【テキスト】

S. E. Hinton. The Outsiders (1967). Speak (Penguin Group), 1995. 1,000円  
Handouts (Newspaper Articles)

## 【参考文献】

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English

## 英語Ⅲ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

This class is designed to learn about some parts of the law and law related words/phrases through the American movie "The Rainmaker". We can learn American justice and injustice, work of lawyers, the jury system and so on through the trial scenes.

## 【授業の展開計画】

ユニット毎に内容が把握できているかの小テストあり。単語テストは2ユニットずつまとめておこなう。クラスを12のグループに分け、割り当てられたグループはそれぞれのユニットの"Reading"の部分の和訳をおこなう。また、そのテーマに沿って調べたものを発表してもらう。Writing assignmentあり。以下のスケジュールは変更する場合があります。詳細は最初の授業の時に説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction, グループ分け、 Unit 1
2	Unit 1
3	Unit 2
4	Unit 3
5	Unit 4
6	Unit 5
7	Unit 6
8	Unit 7
9	Unit 8
10	Unit 9
11	Unit 10
12	Unit 11
13	Unit 12
14	Writing assignmentの準備
15	Writing assignmentの準備
16	Final Examination (Units 1-12)

## 【履修上の注意事項】

予習をしてくること。毎回プリントで資料を配布しますので、きちんとフォルダーに入れて紛失しないようにして下さい。電子辞書持込み可。ただし、小テストや試験の時は使用禁止。講義中の携帯使用は禁止。マナーを守って下さい。Writingの課題は少なくとも提出の1週間前までに、下書き（英語でワード形式のもの）を持ってきてチェックさせるように。

## 【評価方法】

出席状況 + 授業への参加姿勢 . . . . . 10 %  
 小テスト . . . . . 35 %  
 和訳 + 調べ学習発表 . . . . . 10 %  
 Writing Assignment . . . . . 10 %  
 期末試験 . . . . . 35 %

## 【テキスト】

American Justice in Focus (Macmillan Languagehouse)

## 【参考文献】

特になし

## 英語Ⅲ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 森 庸夫

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

英語読解の基礎を養成する。英語の基本構文を習得し、パラグラフリーディングに習熟させる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	テキストまたはハンドアウトで読解訓練
2	Reading Comprehensionについて	18	同上
3	テキストまたはハンドアウトで読解訓練	19	同上
4	同上	20	同上
5	同上	21	同上
6	同上	22	同上
7	同上	23	同上
8	同上	24	同上
9	同上	25	同上
10	同上	26	同上
11	同上	27	同上
12	同上	28	同上
13	同上	29	同上
14	同上	30	同上
15	同上	31	期末試験
16	中間試験		

## 【履修上の注意事項】

毎時間、英和辞書を持参する。指名されたら応答できるように予習を欠かさないこと。

## 【評価方法】

中間および期末試験の成績と授業への積極的参加

## 【テキスト】

受講生の平均的な英語力などを勘案して選択し、2回目の授業で紹介する。

## 【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

## 英語Ⅲ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

基礎的な英文読解力及び、書く力を総合的に伸ばすことを目指します。そのために英語の文章構成（語句、文など）、や展開法（アイデアの配列）を学びます。その上で必要なreading skills（skimming等）の習得を目指し、実生活や専門科目で応用できることを目標としたい。授業では、個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

## 【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行い（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

## 【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

Effective Reading Level 2 成美堂 宍戸真 小泉朝子 1300円（税別）を使用予定。  
\* 事情により、テキストは変更の可能性があります。

## 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語Ⅲ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

この授業では、法廷映画「The Rainmaker（邦題：レインメーカー）」と、それを基に作られたテキストを使用する。映画のユニットごとの視聴と、それに並行して行われるテキストの精読を通じて、一般的な法廷用語を学習することに加え、アメリカ社会における訴訟を取り巻く現状を理解し、アメリカの法廷についての基礎的知識を、英語を通して得ることを目的とする。

## 【授業の展開計画】

テキストの流れに沿って進めていく。ユニットごとに単語と内容確認の小テストをするが、その総計得点は、総合評価に反映される。

注：授業の流れによっては、下記スケジュール変更の可能性あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 1	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 2	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 3	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 4	26	Unit 12
11	Unit 5	27	全体の総まとめⅠ
12	Unit 5	28	全体の総まとめⅠ
13	Unit 6	29	全体の総まとめⅡ
14	Unit 6	30	全体の総まとめⅡ
15	Unit 7	31	期末テスト
16	Unit 7		

## 【履修上の注意事項】

必ず予習をして、辞書を授業に持ってくること（電子辞書可）。

30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。

10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

各ユニットの小テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

## 【テキスト】

American Justice in Focus (MCMILLAN LANGUAGEHOUSE)

## 【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

## 英語Ⅲ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。

## 【授業の展開計画】

テキストの流れに沿って進めていく。ユニットごとのモデル文の小テストを行い総合評価に加味する。以下のスケジュールは変更する場合がある。詳細は初回の講義に説明する。

週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明
2	英文の構造の解説おそびパラグラフリーディングの基礎
3	Unit1 大学生のアルバイト
4	Unit2 健康志向国民
5	Unit3 当世大学生気質
6	Unit4 心配なホームステイ
7	Unit5 日本人にとってアメリカとは
8	Unit6 酒と大学生
9	Unit7 帰国子女のカルチャーショック
10	Unit8 働きがいとは何か
11	Unit9 アジアと日本
12	Unit10 なぜ英語が話せない
13	Unit11 当世親子関係
14	Unit12 受験英語の功罪
15	Unit13 高齢化社会の行く末
16	期末テスト

## 【履修上の注意事項】

ユニット毎のモデル文の小テストをする。  
30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。  
10回以上の欠席は単位を与えない。  
予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。

## 【評価方法】

各ユニットの小テストおよび期末テスト、出席率、貢献度をもとに総合的に判断する

## 【テキスト】

Read Better to Write Better

## 【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 西平 章子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（水土2）、全学科（火金2）

## 【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。テキストの他に、やさしい生きた英語教材の20冊読破を目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	自己紹介を書く練習
2	Unit 1 講読と作文練習
3	Unit 1 and 2 同上
4	Unit 2 and 3 同上
5	Unit 3 and 4 同上
6	Unit 4 and 5 同上
7	Unit 5 and 6 同上
8	Unit 6 and 7 同上
9	Unit 7 and 8 同上
10	Unit 8 同上
11	注 テキストの進み具合と学生との調整により、小テストを数回行います。
12	
13	
14	
15	期末テスト
16	英作文提出最終日

## 【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

## 【評価方法】

テスト40%＋英作文40%＋課題多読20%＝100%＋受講態度

但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。  
優80～100点、良70～79点、可60～69点、不可59点以下

## 【テキスト】

The World Watches Japan 編著者 竹村 日出男 南雲堂 2012

## 【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 ジョニー ハッチャー

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

## 【授業のねらい】

This is a course for all students with an interest in reading and writing in English. We will look at various styles and forms of written English, with an emphasis on how to produce English that reads smoothly and naturally, and is appropriate for its context.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	Text Speak
2	Computer Orientation	18	Practice
3	Choosing the right words	19	Roots
4	Practice	20	Practice
5	Choosing the right words	21	Prefixes
6	Practice	22	Practice
7	Formal Tone	23	Suffixes
8	Practice	24	Practice
9	Informal Tone	25	Passive Voice
10	Practice	26	Practice
11	Contractions	27	Active Voice
12	Practice	28	Practice
13	Abbreviations	29	Review
14	Practice	30	Final test preparation
15	Mid-Term test preparation	31	Final test
16	Mid-term test		

## 【履修上の注意事項】

Tuesday's class will be in a computer room, Friday's class in a normal classroom.

## 【評価方法】

75%: In-class performance, attitude and improvement  
 15%: Mid-term test  
 15%: Final test

## 【テキスト】

None.

## 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 西平 章子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（水土2）、全学科（火金2）

## 【授業のねらい】

英語のReading and Writingを通して読解力と英作文を練習します。テキストの他に、英字新聞、週刊誌、月刊誌などを読み、最終課題として、身の回りにおける英語で書かれた物の発表をします。

## 【授業の展開計画】

1週	夏休みの思い出を英作文
2週	Unit 9
3週	Unit 9 and 10
5週	Unit 10 and 11
8週	Unit 11 and 12
9週	Unit 12 and 13
11週	Unit 13 and 14
12週	Unit 14 and 15
13週	Unit 15 and 16
14週	Unit 16
15週	期末テスト
16週	課題発表最終日

## 【履修上の注意事項】

1. 遅刻、欠席はしないようにしてください。欠席届は必ず提出すること。
2. 授業中のおしゃべりは講義妨害のため、退室を命じます。
3. 毎時間英作文を提出しますので、辞書を持参のこと

## 【評価方法】

テスト40%+英作文40%+課題発表20%=100%+受講態度  
但し、欠席が三分の一の場合は、学則により自動的に評価は「不可」となります。  
優80～100点、良70～79点、可60～69点、不可59点以下

## 【テキスト】

The World Watches Japan 編著者 竹村 日出男 南雲堂 2012

## 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

英語Ⅲを基礎に、読み、書く能力の一層の強化を図る。その中で特に速読を実践する。速読における第一目標として70～80%の理解度で、130～150wpm (words per minute)の読解速度を目指し、最終的には200 wpm 程度の読解速度の達成に努めたい。そしてこの授業で学習したことを実生活や専門科目で応用できることを目標とした。授業では、個人、ペアワーク、グループワークなどを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

## 【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行ない（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明会

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 学則に基づき、3分の1以上欠席のものには単位を認めない。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。

## 【評価方法】

出席点25%、平常点25%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。授業を全体の1/3以上欠席した学生には単位を与えない。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

Reading Expert 2 成美堂 宍戸真, Bruce Allen 1800円（税別）を使用予定。  
\* 事情により、テキストは変更の可能性があります。

## 【参考文献】

必要に応じて講義で配布します。

## 英語Ⅳ

担当教員 ジョニー ハッチャー

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

## 【授業のねらい】

This is a course for all students with an interest in reading and writing in English. We will look at various styles and forms of written English, with an emphasis on how to produce English that reads smoothly and naturally, and is appropriate for its context.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	Phrasal verbs
2	Computer Orientation	18	Practice
3	Building sentences	19	Phrasal verbs
4	Practice	20	Practice
5	Conjunctions	21	Direct vs indirect speech
6	Practice	22	Practice
7	Building paragraphs	23	Email writing
8	Practice	24	Practice
9	Transitions	25	Business writing
10	Practice	26	Practice
11	Punctuation	27	Common mistakes in English writing
12	Practice	28	Practice
13	Summary	29	Review
14	Practice	30	Final test preparation
15	Mid-term test preparation	31	Final test
16	Mid-term test		

## 【履修上の注意事項】

Tuesday's class will be in a computer room, Friday's class in a normal classroom.

## 【評価方法】

75%: In-class performance, attitude and improvement  
 15%: Mid-term test  
 15%: Final test

## 【テキスト】

None.

## 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 森 庸夫

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

基本的には、ねらいは英語Ⅲと同じ。適切なトピックを選んで、パラグラフ読解力をさらに伸ばす。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスの概要説明	17	テキストまたはハンドアウトで読解訓練
2	Paragraph Readingについて	18	同上
3	テキストまたはハンドアウトで読解訓練	19	同上
4	同上	20	同上
5	同上	21	同上
6	同上	22	同上
7	同上	23	同上
8	同上	24	同上
9	同上	25	同上
10	同上	26	同上
11	同上	27	同上
12	同上	28	同上
13	同上	29	同上
14	同上	30	同上
15	同上	31	期末試験
16	中間試験		

## 【履修上の注意事項】

毎時間、英和辞書を持参する。指名されたら応答できるように予習を欠かさないこと。

## 【評価方法】

中間および期末試験の成績と授業への積極的参加。

## 【テキスト】

未定

## 【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

## 英語Ⅳ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。

リーディングスキル向上の為に、テキスト以外に英字新聞、特に法律や行政問題を扱った記事を扱う。

## 【授業の展開計画】

現時点ではテキストが未定なので詳細については初回講義にて説明する。

週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	期末テスト

## 【履修上の注意事項】

ユニット毎のモデル文の小テストをする。

30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。

10回以上の欠席は単位を与えない。

予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。

## 【評価方法】

各ユニットの小テストおよび期末テスト、出席率、貢献度をもとに総合的に判断する

## 【テキスト】

現時点では未定。初回講義に説明する

## 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

法律に関する題材を扱った英文を読む中で、英語の法律用語を学び、一般常識程度の英語で書かれた法律関連記事を理解することができる英文読解力を養成することを目的とする。

## 【授業の展開計画】

テキストの精読を中心にした授業展開になる。現時点では、テキストが未定なので、詳細については、講義初回にて説明する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1		17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	
9		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16			

## 【履修上の注意事項】

必ず予習をして、辞書を授業に持ってくること（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

講義初回にて説明する。

## 【テキスト】

現時点では、未定

## 【参考文献】

あれば、適宜、授業中に紹介する。

## 英語Ⅳ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

法律関連のreading passagesを読み、英語を通して法律用語等を学びます。一般教養としての英語なので、深い専門的なことまではカバーできませんが、日常生活の中での法律に関する英語記事を読み理解できるようにする。

。

### 【授業の展開計画】

教科書が現時点で未定なので、最初の授業のときに詳細を説明します。

### 【履修上の注意事項】

出席に関しては、遅刻3回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。電子辞書持ち込み可。ただし、小テストや試験の時は使用禁止。講義中の携帯電話の使用も禁止。

### 【評価方法】

最初の講義のときに説明します。

### 【テキスト】

未定

### 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

英語Ⅲのクラスを発展させる形で、このクラスは食育的な観点からアメリカでベストセラーになったダイエットに関するテキストを講読し、文法重視の読解ではなく、英語の文章を多く読み、常識と想像力を駆使して、英語の文脈を理解しながら英文の大意をつかむ練習をします。副教材として食育に関するドキュメンタリー映画を鑑賞し、英文エッセイを書くなどして批判的思考を培い、実践的な英語力のアップ及び充実した英語対話の運用能力を鍛える訓練をします。

## 【授業の展開計画】

\*講義の進度によって、講義予定に変更がある場合もあります。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation & Film Super Size Me	17	Film Erin Brockovich (2000)
2	Super Size Me (Continued)	18	Film Erin Brockovich (2000) Continued
3	Skinny Bitch Introduction & Chapter 1	19	Skinny Bitch Chapter 9
4	Skinny Bitch Chapter 1	20	Skinny Bitch Chapter 9
5	Skinny Bitch Chapter 2	21	Skinny Bitch Chapter 9
6	Skinny Bitch Chapter 3	22	Film Food, Inc. (2009)
7	Skinny Bitch Chapter 3	23	Skinny Bitch Chapter 10
8	Skinny Bitch Chapter 4	24	Skinny Bitch Chapter 10
9	Skinny Bitch Chapter 4	25	Skinny Bitch Chapter 10
10	Skinny Bitch Chapter 5	26	Skinny Bitch Chapter 11
11	Skinny Bitch Chapter 5	27	Skinny Bitch Chapter 11
12	Film King Corn (2007)	28	Skinny Bitch Chapter 12
13	Skinny Bitch Chapter 6	29	Skinny Bitch Chapter 13
14	Skinny Bitch Chapter 6	30	Skinny Bitch Chapter 13, Afterword and
15	Skinny Bitch Chapter 7	31	Final Exam (Skinny Bitch Open-book exam)
16	Skinny Bitch Chapter 8		

## 【履修上の注意事項】

(1) 遅刻や私語は厳禁。講義中の居眠りは欠席となる。(2) 講義中、携帯電話は電源を切ること。辞書としての携帯電話使用不可。(3) 講義中、教室を出入りする際は必ず講師に許可を得ること。(4) 講義には毎回辞書、テキスト、筆記用具を持参すること。(5) 毎講義前まで講読予習をすること。毎回予習クイズあり。(6) 期末試験はopen-book examなので、テキストの購入必須。(7) 英文エッセイや課題を書籍、インターネット、その他から剽窃した場合、不可とする。(8) 講義は基本的に英語で行う。

## 【評価方法】

- ・講義での貢献度10%、課題（英文エッセイなど）30%、クイズ（中間試験の代わり）30%、期末テスト(open-book exam) 30%。
- ・80点以上 優、70-79点 良、60-69点 可、59点以下 不可。
- ・留意点：授業回数の3分の1以上（10回）欠席すると、文部科学省の規則により自動的に不可となります。

## 【テキスト】

Rory Freedman & Kim Barnouim. Skinny Bitch. Running Press, 2005. 1,500円  
Handouts (Newspaper Articles)

## 【参考文献】

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English

## 英語 V

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水2金1）

## 【授業のねらい】

英検2級レベルの英語力を養成し、英語の統合的な実力をつけることを目的とする。

## 【授業の展開計画】

6月の英検試験をめどに、テキストの進度をすすめていくので注意すること。また、テキストは受講生が割り振られた担当箇所は責任をもって答えと考え方など説明することにします。語彙豆テストは、確実な大量で確実な語彙定着を養うため、20回にわけて行うものです。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラス概要説明、テキスト紹介 他	17	語彙豆テスト13 英検2級対策テキスト、
2	英検2級について、英検2級テキスト	18	語彙豆テスト14 英検2級対策テキスト、
3	ミニ英検2級模擬試験（実力判断）	19	語彙豆テスト15 英検2級対策テキスト、
4	語彙豆テスト1 英検2級対策テキスト	20	語彙豆テスト16 英検2級対策テキスト、
5	語彙豆テスト2 英検2級対策テキスト、	21	語彙豆テスト17 英検2級対策テキスト、
6	語彙豆テスト3 英検2級対策テキスト、	22	語彙豆テスト18 英検2級対策テキスト、
7	語彙豆テスト4 英検2級対策テキスト、	23	語彙豆テスト19 英検2級対策テキスト、
8	語彙豆テスト5 英検2級対策テキスト、	24	語彙豆テスト20 英検2級対策テキスト、
9	語彙豆テスト6 英検2級対策テキスト、	25	期末総点検（テストを含む）
10	語彙豆テスト7 英検2級対策テキスト、	26	Reading Passage、listening演習1 他
11	語彙豆テスト8 英検2級対策テキスト、	27	Reading Passage、listening演習1 他
12	語彙豆テスト9 英検2級対策テキスト、	28	Reading Passage、listening演習1 他
13	語彙豆テスト10 英検2級対策テキスト、	29	英検2級対策テキスト等 補充
14	中間総点検（テストを含む）	30	模擬一次試験（筆記）、16週目はリスニング
15	語彙豆テスト11 英検2級対策テキスト、	31	
16	語彙豆テスト12 英検2級対策テキスト、		

## 【履修上の注意事項】

○英和・和英辞書必携のこと（辞書抜き打ちチェックをします!） ○積極的に参加はボランティアポイントとして成績評価点で反映されます（ボランティアポイントが7ポイント未満は自動的に不可となりますので注意してください） ○就職活動による講義欠席についての優遇措置はとらない（就活の講義欠席は課題提出により5回までは欠席減点はおこなわない、課題申請は本人がじかに申し出る 等の厳しい規定を設けます。詳しいことはオリエンテーションで説明する）

## 【評価方法】

定期テスト、語彙豆テスト、発表、ボランティアポイント、減点（遅刻、欠席、内職、睡眠、態度不良等）すべてを合計した上で評価します。

## 【テキスト】

講義概要説明時にテキストは紹介し、購入を求めます。

## 【参考文献】

## 英語VI

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（火木3）

## 【授業のねらい】

ペアドリルやスピーチを通して英検準1級レベルの英語力を目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Vocabulary & Speaking 15
2	Vocabulary & Speaking 1	18	Vocabulary & Speaking 16
3	Vocabulary & Speaking 2	19	Vocabulary & Speaking 17
4	Vocabulary & Speaking 3	20	Vocabulary & Speaking 18
5	Vocabulary & Speaking 4	21	Reading & Listening 1
6	Vocabulary & Speaking 5	22	Reading & Listening 2
7	Vocabulary & Speaking 6	23	Reading & Listening 3
8	Vocabulary & Speaking 7	24	Reading & Listening 4
9	Vocabulary & Speaking 8	25	Reading & Listening 5
10	Vocabulary & Speaking 9	26	Reading & Listening 6
11	Vocabulary & Speaking 10	27	Reading & Listening 7
12	Vocabulary & Speaking 11	28	Reading & Listening 8
13	Vocabulary & Speaking 12	29	Reading & Listening 9
14	Vocabulary & Speaking 13	30	Reading & Listening 10
15	Vocabulary & Speaking 14	31	CALL STEP Test Mode 2
16	CALL STEP Test Mode 1		

## 【履修上の注意事項】

- (1) 講義はできるだけ英語を使用します（学生も英語を積極的に使うことが望まれます）
- (2) 指定された席に座る
- (3) 無断欠席、遅刻をしない \*遅刻 2回で欠席 1回とみなします
- (4) 辞書持参（できるだけ電子辞書）

## 【評価方法】

授業態度、出席状況、学習記録を総合的に評価する

## 【テキスト】

授業の中で連絡します。

## 【参考文献】

授業の中で連絡します

**英語Ⅶ**

担当教員 柴崎 礼士郎

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（月木4）

**【授業のねらい】**

TOEIC対策を中心とした総合的な英語力の上達を狙いとする。TOEICの試験形式に慣れることは勿論、語彙力・表現力の向上も図っていく。TOEICの試験は、本試験・Bridge試験にかかわらず、良い得点は履歴書にも書け見栄えも良い。本学「外国語センター」で試験申込等の情報は入手可能なため、是非この機会に得点を上げておきましょう。尚、昨年度を受講生の中から、受講後にスコアを300点以上伸ばした人、900点以上を取得した人、等々、多数の報告を受けた。「学問に王道なし」と言われるように、地道な学習が成果につながります。

**【授業の展開計画】**

第1-16週： TOEIC総合演習

- ・単語・表現テスト
- ・リスニング
- ・ディクテーション
- ・リーディング
- ・その他

**【履修上の注意事項】**

特になし。ただし単語・表現クイズは毎回行う。

★★Apple iPod や SONY walkman などを持っている人は持参して下さい★★

**【評価方法】**

①出席率 ②単語・表現クイズ ③課題 ④中間期末テスト ⑤授業態度

**【テキスト】**

現在選定中につきTBA。開講時に指示します。参考文献に挙げたテキストはいずれも良いです。是非参考に！

**【参考文献】**

秋葉利治・森秀夫 2010『英単語・熟語ダイアログ1800 CD3枚つき』改訂版. 旺文社. ¥2,400（税別）  
鶴田知佳子・柴田真一 2008『世界を動かすトップの英語 CD付』コスモピア. ¥2,100（税別）

## 英語Ⅷ

担当教員 松田 節子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（月木5）

### 【授業のねらい】

この授業では、TOEFLの試験問題に取り組みながら総合的な英語力を伸ばすことを目指す。まず初めに、TOEFLの問題を解くことによって試験の形式に慣れ出題の傾向をつかむようにする。次に、TOEFLの問題以外の様々な教材を用いてリスニングとリーディングの力を伸ばすようにする。学期の後半には、ライティングとスピーキングにも取り組み、総合的な英語能力の向上を図る。また、機会をとらえて効果的な英語学習法（学習ストラテジー）についても紹介する。

### 【授業の展開計画】

第1週

授業内容とTOEFLについての説明

第2週～第7週

- (1) TOEFL問題演習と解説
- (2) リスニング演習（ディクテーション、英問英答、英語の対話や講義などのリスニング問題）
- (3) リーディング演習（TOEFLの長文読解や様々なテーマについての英文読解）

第8週

問題点の整理と中間テスト

第9週～第15週

- (1) TOEFL問題演習と解説
- (2) リスニング演習（ディクテーション、英問英答、英語の対話や講義などのリスニング問題）
- (3) ライティング演習（英語のライティングの基礎を学び、エッセイを書く練習をする）
- (4) スピーキング演習（意見の述べ方や話の要約の仕方を学ぶ）

第16週

期末テストと授業評価

### 【履修上の注意事項】

- (1) 遅刻、無断欠席をしないこと
- (2) 授業に英和・英英辞典を持ってくること
- (3) 教室では携帯電話の電源を切ること

### 【評価方法】

出席、授業参加、提出課題、テストなどから総合的に評価する。

### 【テキスト】

選定中

### 【参考文献】

適宜紹介する。